

## 第1 せせらぎスクール推進事業とは

### 1 はじめに

福島県環境創造センターは、身近な河川等での水生生物による水質調査（以下「水生生物調査」という。）を通じて、県民の水質保全に対する意識の高揚を図ることを目的に、せせらぎスクール推進事業を実施しています。小・中学校、高等学校、市民団体等（以下「学校や団体等」という。）に参加を呼び掛け、申込みのあった学校や団体等に対し水生生物調査に必要な資材の提供を行うとともに、「せせらぎスクール指導者養成講座」を開催して、水生生物調査の指導者を目指す方の育成を行っています。

また、せせらぎスクール推進事業をより多くの方々に周知するため、「せせらぎスクール推進事業報告書」及び「せせらぎスクールうつくしま川の体験マップ」の作成・配布を行い、せせらぎスクール推進事業の普及・啓発を図っています。

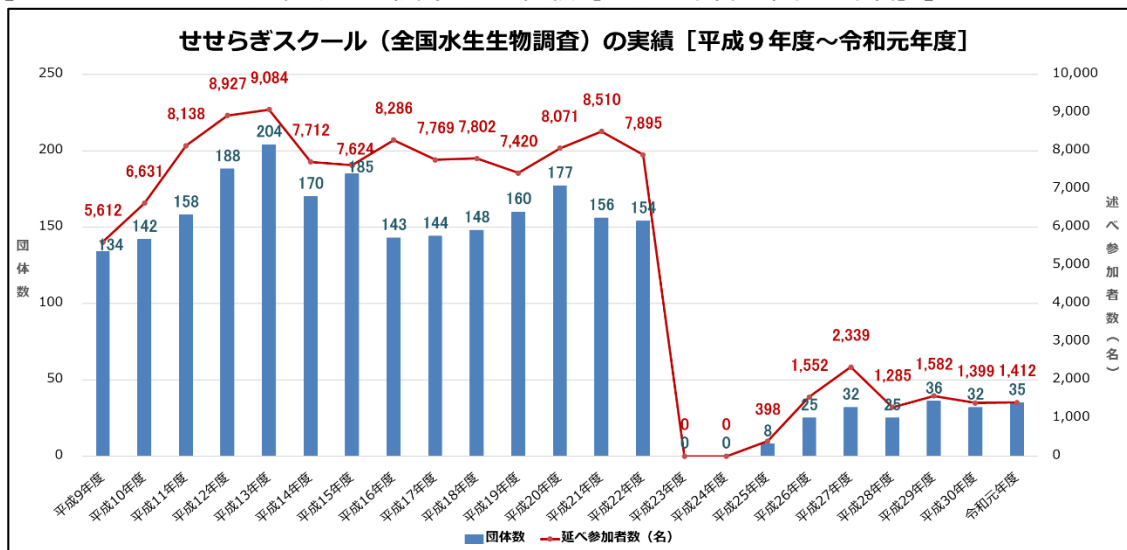
### 2 せせらぎスクール（全国水生生物調査）の経緯

昭和59年度から環境省と国土交通省による「全国水生生物調査」が開始され、福島県では水生生物調査（「せせらぎスクール」）を行う学校や団体等に対し、水生生物調査の実施を呼び掛けています。平成9年度から平成22年度は、数多くの学校や団体等が参加して「せせらぎスクール」の延べ参加人数は14年間連続全国1位（ピーク時は9,084名[平成13年度]）でした。

しかし、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する原子力災害の影響を受け、屋外活動の制限、川辺の活動への保護者の不安等から、「せせらぎスクール」に参加する学校や団体等が大きく減少しました。

平成23年度から平成25年度まで参加募集を休止していましたが、平成26年度から再開しています。近年の延べ参加人数は1,400名程度ですが、「ふるさとの川・荒川づくり協議会」や「西郷くらしの会」、「夏井川流域の会」、「遊水会」、「赤羽子供育成会」、「湯川を美しくする会」をはじめ震災前から地域で水生生物調査を実施している団体を中心に、県内の学校や団体等に「せせらぎスクール」の活動が広がりつつあります。

#### 【せせらぎスクール（全国水生生物調査）の実績 [平成9年度～令和元年度]】



※平成25年度は参加募集を休止していましたが、自主的に水生生物調査をした団体で全国水生生物調査への参加を希望する団体（8団体398名）の調査結果を環境省に報告しました。